

校内の池の再生

～ビオトープに挑戦したい～

泉館山高等学校
総合科学部



泉館山の池

- 平成14年以前
- 生物・物理部の先輩
- その後の手入れなし

水質

- 透明度が低い
- 濁っている
- 池の底にヘドロ



生き物と植生

- カエル
- アメンボ
- タニシ
- 蓮



生徒との関わり

- 春には記念写真
- 生徒の憩いの場
- 近寄ると臭い！



池をきれいに
したい！

汚い原因

- ヘドロの発生
- 水の循環がでない



水質改善方法

- 堆積物の掃除
- 水質浄化剤の投入
- 赤玉・水草・貝類など

4年前には

- かいぼり法を実施
- 水を汲む
- ヘドロをとる
- きれいな水を入れる



4年前には

- 水はきれいになった
- 放流した魚：翌日には
- 翌年カエルの産卵なし

生態系に悪影響？

自分達の手で

**池の浄化の方法について
さらに検討**

生態系を壊さない

浄化方針

- 自分達の方で
- ビオトープ協会委員長
- コーディネーター



翌年以降の活動への展望



カエルの生態

ビオトープの維持

蓮の観察



ビオトープ



野鳥の観察

周囲の植生

アメンボの生態

本校の研究

- 探求活動
- 総合科学部

本校での池・緑地

- 街の中にある
- 生物にとっても必要な場所

本校の憩いの場

人間と生物の共存

本校で学ぶ意味

身近なところで学べる。

- 環境保全
- 環境改善



伝える
実践する



発表は以上です

